

※本リリースは草津市政記者クラブ、文部科学記者会に配信しています。

※株式会社ジャパン・ティッシュエンジニアリングからも本件に関わるリリースを配信しています。

NEWS RELEASE



立命館大学

2024. 6. 12

< 配信枚数2枚 >

報道関係者 各位

立命館大学薬学部と株式会社ジャパン・ティッシュエンジニアリングが 連携・協力に関する協定を締結

立命館大学薬学部(滋賀県草津市、学部長:北原 亮)と、株式会社ジャパン・ティッシュエンジニアリング(略称:J-TEC、本社:愛知県蒲郡市、代表取締役 社長執行役員:畠 賢一郎)は、教育と研究の連携・協力に関する協定を2024年6月11日に締結しました。

今回の取り組みは、「再生医療をあたりまえの医療に」をビジョンに掲げ、広く再生医療を知ってもらうとともに、再生医療の未来を担う次世代の人材を育成したいと考えるジャパン・ティッシュエンジニアリング(J-TEC)と、再生医療分野で活躍できる薬剤師と研究者を育成するため、より実践的な教育を展開したいと考える立命館大学薬学部が共感したことで協定の締結に至りました。

この連携・協定を通じて、互いの持つ知見や教育環境、人材などの交流を活発に行うことで、研究や教育の高度化を目指します。次世代医療の重要な分野である、再生医療・遺伝子治療に関わり、両者で共同研究プロジェクトやインターンシップを進めることにより、実用化に向けた研究成果を社会に還元することや、再生医療・遺伝子治療の分野でリーダーシップを発揮する人材育成に繋がります。本協定を通じて、未来の医療を発展させ、社会に貢献できることを目指します。

■連携協力協定に基づく取り組み

- (1) 教育及び研究活動を目的とした人材交流
- (2) 講義やセミナー等のイベント開催
- (3) 共同研究
- (4) 研究成果の普及及び活用
- (5) その他本協定を達成するために必要と認める事項



協定調印式の様子

■北原 亮 立命館大学薬学部長のコメント

再生医療・遺伝子治療は、次世代医療の最重要分野のひとつです。がん免疫細胞療法、組織・細胞移植、遺伝子治療などにおいて複数製品が上市され、新しい製品の臨床開発も進んでいます。10年後の医療を考えると、再生医療・遺伝子治療において高い専門知識と技術を持った薬剤師や創薬研究者の養成は重要な社会課題です。産学連携により、当該分野の教育と研究の充実化を図りたいと考えています。

今回の産学連携により、薬学部カリキュラムにインターンシップ型の「薬学キャリア演習」科目を設置しました。医薬品開発に関わる仕事に高い関心を持つ薬学生は多くいますが、大学内の教育だけでは、先端的な医薬品の開発や生産プロセス、多様な職種、それぞれに求められる資質や能力について知る機会は多くありません。数日間企業に赴き、実践的な環境で、様々な職種の方と交流しながら医薬品の開発について学ぶ機会を提供します。早期から薬学部卒業生に求められる資質や能力について理解することで、学習意欲やキャリア形成に対する関心の向上が期待できます。

■ 畠 賢一郎 代表取締役 社長執行役員のコメント

私たちは、再生医療を通じて新たな医療の創出に努力してきました。患者さん自身の細胞をつかった医療の価値を追求するとともに、新たな産学連携のあり方も模索しています。そのひとつが人材育成です。とりわけ、バイオテクノロジーを推進する人材は、専門性と多様性のバランスが大切です。生物学的な知識はもちろんのこと、医療、環境、生命倫理、規制制度など、関連するさまざまな知識にくわえ、これを社会実装するアントレプレナーシップも重要です。

今回、立命館大学との新しい枠組みを通じた人材育成に貢献できることは、弊社にとりましても非常に光栄なことと存じます。わが国の未来医療を牽引する高度な人材を輩出し、国民の皆さんへの貢献はもとより、より強い国際競争力を創出できることを期待しています。

新しいアカデミア―企業連携に興味を持っていただける多くの学生さんにも、この機会を楽しんでいただければ幸いです。

■ 立命館大学薬学部について

立命館大学薬学部は、薬学の可能性を開拓する人材、薬学そのものの価値を更に高められる人材を育成するため、2008年に、びわこ・くさつキャンパスに開設されました。

「薬を創る」、「薬の作用を理解する」、「薬を正しく使う」という3つのカテゴリーを将来の進路に合わせて学び、薬学のエキスパートとして社会で活躍できる人材を養成するために、薬学科(6年制)と創薬科学科(4年制)を開設しています。

詳しくはウェブサイトをご覧ください。<https://www.ritsumeit.ac.jp/ph/>

■ 株式会社ジャパン・ティッシュエンジニアリング(J-TEC)について

J-TECは、「再生医療をあたりまえの医療に」をビジョンに掲げる再生医療メーカーであり、2021年3月から帝人グループの一員です。日本の再生医療のトップランナーとして再生医療等製品を安定的に製造販売しており、国内で承認されている再生医療等製品の内、以下5品目がJ-TEC製品です。

- ・2007年10月承認 自家培養表皮「ジェイス®」
- ・2012年7月承認 自家培養軟骨「ジャック®」
- ・2020年3月承認 自家培養角膜上皮「ネピック®」
- ・2021年6月承認 自家培養口腔粘膜上皮「オキュラル®」
- ・2023年3月承認 メラノサイト含有自家培養表皮「ジャスミン」

詳しくはウェブサイトをご覧ください。<https://www.jppte.co.jp/>

以上

●取材・内容についてのお問い合わせ先

立命館大学広報課 担当:池田 TEL.075-813-8300 Email. r-koho@st.ritsumeit.ac.jp